

進路だより



埼玉大学教育学部附属特別支援学校

令和7年10月21日発行

令和7年度 第2号

進路指導主事 茂木絢美

現場実習が始まりました

後期の現場実習が始まりました。1年生は初めての校外実習があります。緊張している様子がヒシヒシと伝わってきます。

「働く」＝「つらい」と捉えがちですが、働くことは決して辛いことではないと思っています。働いているうちに「以前よりもたくさんできるようになった」「できる仕事が多くなった」など自分の成長を感じることがあると思います。働くことは自分の自信につながっていきます。生徒の皆さんにはぜひ現場実習を通して仕事の楽しいところをたくさん見つけて、自分の成長を自ら感じてほしいと思います。



第3回 デュアル実習を行いました

昨年度より新たな取り組みとして高等部では作業学習の一環でデュアル実習を行っています。目的としては「様々な職種を知ること、生徒本人が主体的に進路を考える」ことになります。第3回の今回は「ベルクさいたま櫛引店」で「店舗」の職種を体験してきました。参加した生徒の感想の中に「店舗は向いていないと思ったけどできそうだった」「賞味期限を見て並べる作業が楽しかった」など仕事の内容を具体的に知ったことで、自分の進路や向き不向きを考える機会になったようです。

最終回の第4回はイオンのお隣の「スズキ」で12月に「洗車」の職種を体験してくる予定です。

